

授業概要

コミュニティ心理学は個人の問題を社会的な文脈で捉えることで、社会全体の健康や福祉の向上を目指す学問である。本講義では、コミュニティ心理学に関わる様々な用語や理論について講義し、コミュニティ心理学についての全般的な知識を習得することを目的とする。また講義にはアクティブラーニングの手法を取り入れ、履修者間で個人の問題に関わる社会的な原因についてのディスカッションも行う。

授業計画

第 1 回	コミュニティ心理学とは何か？
第 2 回	コミュニティ心理学の理念と発想
第 3 回	予防
第 4 回	ストレスとコーピング
第 5 回	危機介入とコンサルテーション
第 6 回	ソーシャルサポートとセルフヘルプ
第 7 回	エンパワーメント
第 8 回	コミュニティ感覚と市民参加
第 9 回	ディスカッション①
第10回	家庭・地域における実践
第11回	学校・教育の場における実践
第12回	産業・職場における実践
第13回	医療・保健・福祉の場における実践
第14回	理論と実践の協働：新たな社会問題への取り組み
第15回	ディスカッション②
第16回	まとめ：レポートの作成

到達目標

- コミュニティ心理学の意義を説明できる。
- コミュニティ心理学の知見を用いて現代の問題を捉えることができる。
- 個人の抱える問題を社会的文脈から捉え、解決方法を立案し他者に説明できる。

履修上の注意

- 授業では履修者同士でのディスカッションや何らかのワークを実施するため、積極的な参加が求められる。
- 授業の内容は変更する可能性がある。
- 講義全体として、授業で得た知識を運用し表現することを求める。

予習・復習

- 授業計画に含まれる用語について各自で調べておくこと。
- 授業資料の復習を必ず行うこと。

評価方法

- ディスカッション後のレポート60%（30%×2回）
- 期末レポート40%

テキスト

- 指定しない。適宜資料を配布する。